

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表： 令和4年12月23日

事業所名 社会福祉法人大空会児童発達支援なかよし園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・指導訓練室に個室があり、園児の実態に合わせて活用している。 ・屋上を活用し、園児の活動量の確保を行っている。	・環境設定の工夫、改善を心がけ、園児が過ごしやすい空間を考えていきます。
	2	職員の配置数は適切である	○		・低年齢児や一対一対応が必要な園児が増えてきているため、定数以上配置している。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		・今年度、手洗い場とトイレの改修工事を行った。幼児専用のトイレ・手洗い場になったことで、生活しやすくなった。 ・毎朝と降園後に、掃除を行っています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		・保護者への配布に加え、HPに掲載しています。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		・今後検討していきたいと思います。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・全職員が研修を受ける事は難しいが、オンライン研修に積極的に参加し、職員会議で研修の報告を行っている。	・研修への参加が難しい職員へ、事業所内研修を検討していきます。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	<input type="radio"/>			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>			
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>			
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	<input type="radio"/>			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>		・月に一度の職員会議で、行事や各役割分担の把握、情報共有を行っている。 ・業務連絡用LINEを活用し、情報共有や確認を行っている。	・送迎の関係で、毎日集まって打ち合わせをすることは難しいが、残っている職員間で行い、園児の様子等、情報共有の徹底を行っていく。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<input type="radio"/>			
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>			
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>			
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	<input type="radio"/>			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	<input type="radio"/>			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	<input type="radio"/>		・スムーズに移行ができるように、特性シートの作成を行い、情報提供したり、会議の場で活用したりしている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	<input type="radio"/>		・退園児、卒園児については、必ず特性シートを作成し、保護者の承諾を得て情報提供、共有を行っている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	<input type="radio"/>			
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		<input type="radio"/>	・コロナ禍の為、行えていません。	・法人内の保育園との交流の場を検討していく。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	29 自立支援協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		・担当者が参加しています。	
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・園独自の連絡帳を活用し、保護者に活動内容や様子を伝えている。 ・送迎時に子供の様子や気になったことを伝えている。	
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	○		・保護者向けの研修や講演情報を、配布して知らせている。	
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・今年度より、保護者との連絡手段にLINEを加え、24時間相談を受け付けられるようにした。 ・年に2回、また必要があれば随時面談を行い、保護者への支援も行っている。	
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		・今年度は、4月に保護者会を開催した。今後は、年に2～3回開催できるよう設定していく。	・今後は、年に2～3回程保護者会の開催が行われるよう、年間行事計画に組み込んでいく。
	36 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している			・LINEを活用し、24時間相談を受け付けられるようにした。	・家での困りごとをタイムリーに拾うことで、より家庭との連携を深めていく。
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・今年度より、なかよし園のInstagramを開設し、日中活動の様子を保護者に向けて発信している。 ・毎月発行している園だよりで、行事予定や連絡事項を発信している。	・風通しのよい療育という部分においても、保護者や地域の方に園での様子を発信することで、より療育の質が上がってくると考えている。療育の見える化をすることで、保護者への安心にも繋がるので、今後も情報発信を行っていく。
	38 個人情報の取扱いに十分注意している	○			
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		・今年度より、地域のボランティア活動をされている方々を招いて、絵本会や人形劇を開催し、地域との繋がりを持つことができている。	・今後も、地域資源を活用し、地域との繋がりをを持った療育を行う。
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		・毎月、色々な災害を想定した訓練を行っている。	・訓練の様子をSNSで発信していく。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○			

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			
45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		・研修への参加に加え、定期的なアンケートの記入を行い、日々の支援について振り返り機会を設けている。	・今後も継続して行い、時には職員間で気づいたことや気になる行動については会議で話し合いをしていく。
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			

○この「児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。